

# まだ…終わってはいない!!… 少しずつ!!…できることを力に

## 東日本大震災 復興支援研修会 (あれから二年…)



南相馬市小高区(旧警戒区域)

東日本大震災の被災地では震災発生から二年が経過し、「復興」への道のりは未だ遠く。特に南相馬市は、東京電力福島第一原子力発電所事故の影響が大きく、当時と変わらない状況が残念ながら継続している状況です。

震災後の6月に4日間行ったボランティア活動参加者を中心に、2年が経過した被災地を訪れ、南相馬市の状況を社会福祉協議会職員から拝聴し、震災を風化させない、惹いては経済的支援も念頭に被災地の一日も早い復興支援となることを目的に実施しました。

参加された方々は、当時の様子を思い出しながら、所々変わっている光景に「時間はかかってでも少しずつ進んでるね、また来ることができて良かった」「あれから時間が止まっているようで、進んでいないところは進んでいないね」「家族にも伝えたい」などそれぞれの思いを参加者同士で話していました。

被災地へ再び訪れ、「風化させてはいけない」と改めて感じる事ができた研修でした。

### 平成24年度 東日本大震災における榛東村社会福祉協議会支援状況

9月1日	復興支援ツアー	福島県いわき市
12月9日	復興支援ボランティア活動(防災ボランティア)	福島県南相馬市小高区
11日	復興支援研修会	福島県いわき市

### 福祉教育

## ～一輪のひまわりから～



阪神・淡路大震災で小学校6年生の「はるかちゃん」というひとりの少女が壊れた家の下敷きになり亡くなりました。その年の夏、彼女が亡くなった自宅跡に咲いた一輪のひまわりを見つけた人達が「はるかのひまわり」と呼び震災から18年経つ今も植え続けられています。



今年も南小学校と北小学校では、命の大切さや自分たちにできることを考え「はるかのひまわり」を育てています。